

若狭の原発 動かすな！ 福島におもいはせ みんなでデモしよう！



バイバイ原発 3.10きょうと



プログラム 2019年3月10日(日)

- **メイン集会** 開場13:00 (プレ企画 京都うたごえ協議会) 開会13:30~15:00
※手話通訳を準備しています。受付までお申し出ください。
- ・ **開会** 司会 下村 委津子 (フリーランスアナウンサー、環境市民)
- ・ **主催者あいさつ** 坂本 真有美 (呼びかけ人、コープ自然派京都)
- ・ **メッセージ紹介**
- ・ **スピーチ** 「守ろう！避難の権利」 原発賠償京都訴訟・原告団のみなさん
- ・ **スピーチ** 「めざそう！原発のない社会」
安楽 知子 さん (40年廃炉名古屋訴訟市民の会事務局長)
- ・ **スピーチ** 「つくろう！原発ゼロ基本法」
山崎 誠さん (超党派の議員連盟「原発ゼロの会」世話人/衆議院議員)
- ・ **原発ゼロを表明している各政党からの決意表明**
- ・ **合唱** 「群青」 (福島県南相馬市の中学生作詞) ほか 京都うたごえ協議会
- **デモ出発** 15:00ごろ~
デモコース： 円山公園~祇園~四条河原町~市役所前解散

※関連企画 中村敦夫さん朗読劇は、2月23日(土)に京都教育文化センターにて開催しました。
(主催：京都府保険医協会/歯科保険医協会 共催：バイバイ原発きょうと実行委員会)

<呼びかけ人>

- アイリーン・美緒子・スミス (グリーン・アクション) / 飯田哲夫 (京都府保険医協会)
 魚山栄子 (原発ゼロをめざす京都ネットワーク) / 石田紀部 (市民環境研究所) / 伊東未来 (関西学院大学先端社会研究所) / うのささこ (3・11ゆいネット京田辺) / 大島 堅一 (龍谷大学教授) / 小野 力 (NO NUKES ACTION)
 河本真智子 (nonstopkyoto) / 木原 社林 (若狭の原発を考える会) / 児玉正人 (原発なしで暮らしたい丹波の会)
 佐伯島和 (有機農家) / 坂本真有美 (コープ自然派京都) / 佐々木佳嗣 (京都・水と緑をまもる連絡会)
 下村委津子 (フリーランスアナウンサー) / シヤウベッカー・テドレフ (口丹自然のくらし協議会) / 枝本育生 (環境市民)
 鈴木栄 (安全農産供給センター) / 宗川吉洋 (日本科学者会議京都支部) / 田浦健樹 (気候ネットワーク)
 榎田 助 (使い捨て時代を考える会) / 出口治男 (弁護士/京都脱原発弁護団) / 中井 豊 (NAZEN京都)
 竹尾 宏 (反戦・反貧困・反差別共同行動in京都) / 堀川節子 (バイバイ原発デモ実行委員) / 中山良子 (非暴力講師)
 西山尚幸 (コンシューマーズ京都) / 朴勝俊 (関西学院大学教授) / 萩原ゆきみ (原発賠償京都訴訟原告)
 原 強 (京都環境経済研究所) / 榎島敦子 (原発賠償京都訴訟原告) / 藤井悦子 (アジェンダ・プロジェクト)
 細谷みつ子 (生活クラブ京都エル・コープ) / 堀江みゆき (原発賠償京都訴訟原告)
 堀内隆香 (市民メディアの報道写真を見る会) / 森田郁江 (つながる、みなまたとわたし) / 守田敏也 (フリーライター)
 山内小夜子 (真京大谷渋谷/解放運動推進本部) / 山崎典子 (絆キャンプin京都) / 山本幸市郎 (京都反原発めだかの学校)
 望田幸男 (非核の政府を求めの京都の会) / 吉田明生 (京都脱原発原告団) / 吉田真理子 (原発なしで暮らしたい宮津の会)

<連絡先>

tel 075-701-7223 (グリーン・アクション) fax 075-361-0222 (使い捨て時代を考える会)
e-mail: info@nonukeskyoto.com ホームページ <http://nonukeskyoto.com/>

<バイバイ原発3・10きょうと 決議文(案)>

- ・福島原発事故によって奪われた暮らし・健康・環境・地域社会を
国と東京電力に償わせよう。
- ・避難者の切り捨て、汚染地域への帰還強要は許さない。
- ・若狭の原発動かすな。すべての原発の再稼働をやめさせよう。
- ・原発ゼロ基本法をつくり、脱原発社会を一日も早く実現しよう。

<各地の集会からのメッセージ>

口■「第8回さよなら原発福井県集会2019 in ふくい」より「バイバイ原発3・10きょうと」にご参加のみなさま
電力供給地元の福井県の住民は、毎年3月に「さよなら原発福井県集会」を開催してきました。今年は、3月9日、
福井市フェニックスプラザで第8回県集会を開催します。今回は、特別講演者として、福島から伊東達也氏と原発ゼロ・自然
エネルギー推進連盟副会長の中川秀直氏（元科学技術庁長官）を招待します。

私たちの集会のスローガンは、次の通りです。

福島の犠牲なしに再稼働など論外！ 住民の安全第一に避難防災対策を！ 安倍政権は即座に原発ゼロの決断を！

私たちの集会の目的は、貴集会の4つの決議と合致しております。「バイバイ原発3・10きょうと」にご参加のみな
さまと連携して、原発のない社会をつくるための住民運動を益々深める決意をお伝えし、連携のご挨拶とします。

2019年3月9日「3・11メモリアルアクション原発のない新しい福井へ
第8回さよなら原発福井県集会2019 in ふくい」参加者一同

口■ 原発のない社会へ 2019びわこ集会より「バイバイ原発3・10きょうと」にご参加の皆さんへ

福島第一原発事故から8年経ちますが、いまなお原子力緊急事態宣言は解除されず、事故原因の究明も進まず、廃炉の
見通しも立ちません。にもかかわらず政府は避難者への住宅支援を打ち切り、経済面からも避難者の帰還を強制していま
す。

昨年、名古屋高裁は大飯原発を差し止めた前例的な福井地裁横口判決を取り消しました。東日本では原発の稼働はゼロ
ですが、西日本では9基も再稼働しており、老朽原発の高浜1、2号機、美浜3号機の再稼働も狙われています。他方、
原発輸出は総崩れとなり、原発はもはや採算がとれず、原発事業に未来がないことが明らかになりました。

私たちは「バイバイ原発3・10きょうと」に参加された皆さんとともに、原発のない社会をつくりあげた決意を新たに
しています。圧倒的多数の原発ゼロを求める国民世論によって原発推進勢力を包囲し、原発ゼロ法を成立させ、放射能
からびの湖を守り、私たちと子々孫々の生活を守りぬきましょう。

2019年3月9日「原発のない社会へ 2019びわこ集会」参加者一同

口■「バイバイ原発京都」集会に結集されたみなさま

311の悲劇に参列した日から、早くも8年の歳月が経ちました。スリーマイル、チェルノブイリ、そして福島と、
世界は大きな原発事故を経験し、多大な犠牲を払いましたが、今ようやく脱原発の実現が見えてきました。安全性を重視
すれば、原発は大変高価で、とうとう採算が合わず、各国は次々と原発から撤退しています。

安倍政権が、日本経済の成長戦略の柱と位置づけ力を注いだきた原発輸出は総崩れの状態で、日本のメーカーは、大き
な損失を払って撤退しました。再生可能エネルギーの飛躍的な増進もあり、国内でも、老朽原発が次々と廃止となってい
ます。

又、プルトニウム利用の核燃料サイクル政策も八方破れの状態で、国は相変わらず、もんじゅに変わる新高速炉計画
でプルトニウムを増殖し、再処理経路の口実にしていますが、一方で、核不拡散の観点からプルトニウムを削減しなけ
ればならない大きなジレンマに陥っているのです。30兆円も費やして、何の役に立たないどころか、大惨事を引きか
ねない核燃料サイクル政策を一刻も早く止めさせましょう。

みなさん、希望をもって、決断せず、力を合わせて、原発ゼロ、プルトニウムゼロの平和な社会を実現させましょう。

さよなら原発 2019 関西アクション実行委員会 事務局 池島美紀子

口■“なくせ！原発”“再稼働はんたい！”おおさか大集会2019より

京都府民のみなさん、「バイバイ原発3・10きょうと」にご参加のみなさん。

福島第1原発の事故から8年が経過します。わたしたちは、京都の皆さんと手を同じくして、ここ大原の地で京都の皆
さんと同じように、「なくせ！原発」「再稼働はんたい！」おおさか大集会2019を開催しています。大阪から大阪
府民へ、そして全国の仲間へ発信します。

一、野党4党の原発ゼロ基本法案を大いに学習し、広め、実現する世論と運動を作りましょう。そして、原発ゼロ基本
法案を審議し、実現する国会をつくりましょう。

二、関西電力に対し再稼働を強行した高浜・大飯原発の停止と廃炉を要求しましょう。四国電力の伊方原発の再稼働に
反対し、廃炉を要求しましょう。

三、大阪府をはじめ各自治体に対し、自然エネルギー・再生可能エネルギーに、本腰を入れて取り組むことを要求しま
しょう。自らも身近なところから実践しましょう。

京都のみなさまへの連携のご挨拶にかえさせていただきます

2019年3月10日 原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会